

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

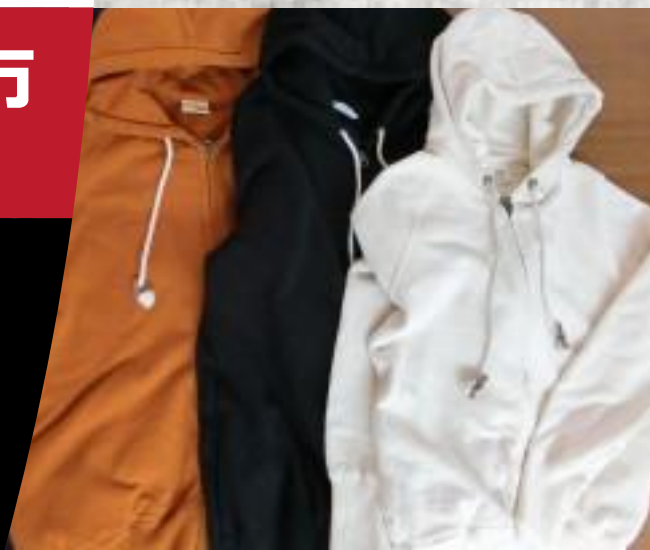


和歌山県 和歌山市
が応援するふるさと名物

『ニット製品』

～全国シェア第1位

日本最大の丸編みニット産地～



◆和歌山市の地勢・気候

和歌山市は、紀伊半島の北西部に位置します。北はみどり豊かな和泉山脈ののどかな山並みに囲まれ、西は風光明媚な紀淡海峡に面し、紀ノ川の河口に位置する和歌山県の県都です。

関西国際空港から40分程度、また、阪和自動車道を利用すると近畿各府県へ1時間程度の距離に位置しています。

2015年に「紀の国わかやま国体・大会」が開催され、京奈和自動車道が延伸したことで近畿他県方面からのアクセスが容易となり、本市への観光客も増加しつつあります。

気候は、瀬戸内海式気候に属し四季を通じて温暖な気候に恵まれています。



紀ノ川と和歌山平野



海水浴を楽しむ観光客

◆吊り編み機から始まる和歌山市のニット

和歌山市のニット産業は、明治41年度に始まります。当時、ニットは「メリヤス（莫大小）」と呼ばれ、伸縮性に富むことからシャツや靴下などの肌着の主要素材でした。

近代化の流れにより、軍用靴下の生地としてメリヤスが注目され、和歌山市の楠本藤楠氏がスイス製吊り編み機を購入し、本格的にメリヤスの製造を始めました。

そして、大正8年には全国一の丸編みメリヤス産地として発展を遂げました。

吊り編み機の生産性は高くなく、現在では世界でも和歌山市の企業でしか稼動していません。

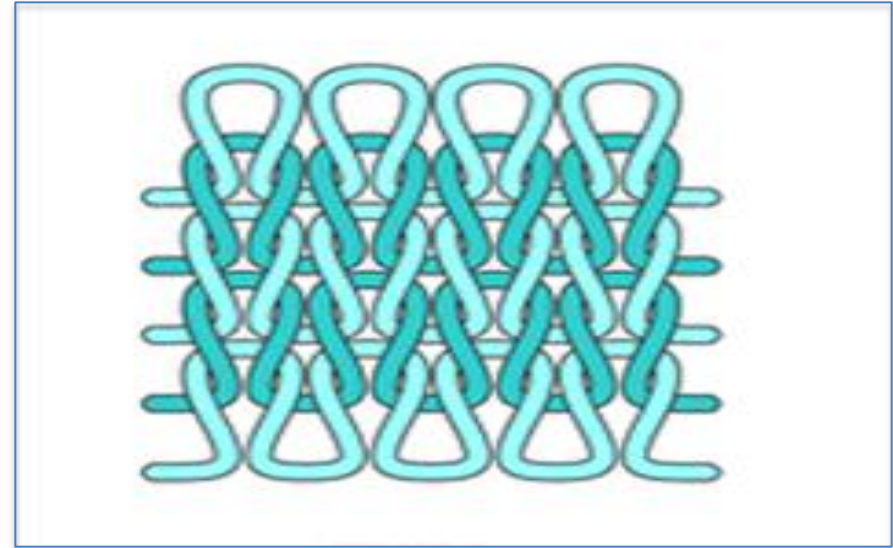
しかし、編み上げがまるで手編みのような風合いになり、他の編み機では出せない抜群の着心地があることから有名ブランドやデザイナーなど、近年ファッション業界から強い関心が寄せられています。



活用する地域資源…「ニット」

◆ニット

ニットは、1本の糸でループを作り編んでいくため、縦にも横にも伸びます。また、編目がループ状であるため、空気を含んだり、通気性を高めるといった機能を備えています。このため、ジャージやTシャツ、肌着、靴下、マフラーなどの生地として使用されています。



◆丸編みニット

ニットを製造する編み方には、「緯（ヨコ）編み」と「経（タテ）編み」があり、さらに緯編みには丸編みと横編みがあります。

「丸編み」とは、螺旋状に編地を編み上げ、円筒状に編地を作成する方法です。

丸編みで編まれたニット生地は、伸縮性に富み肌着やTシャツ・カットソーなどの衣類に使われます。

和歌山市のニット企業のうち、丸編みでニットを作る企業が9割を占めています。



ふるさと名物・・・「ニット製品」

◆ニット生地

明治時代から始まる和歌山市のニット企業では、肌着からトレーナー生地、ジャージ生地と様々な生地が作られてきました。

ニット生地は吊り編み機などの編み機で作られますが、手放して機械を稼働させるだけというわけにはいきません。

糸の太さや、気温・湿度などの気象条件を判断し、職人の方が絶えず編み機の状態をチェックしながら、細心の注意を払い稼働させています。

このようにして丁寧に作られたニット生地は、**全国屈指の柔らかさと肌触りを誇ります**。また、長年使用しても**生地が傷まない丈夫さも兼ね備えています**。使い込みによって生まれる、**ビンテージ感を楽しめる**のも和歌山市のニット生地の特長です。



吊り編み機をチェックする職人



最高の着心地と柔らかさをもつ生地

ふるさと名物・・・「ニット製品」

◆ニット衣料

和歌山市のニット生地で作られた**衣料品も生地と同様に、柔らかさと着心地感に優れています。**また、洗濯を繰り返してもゴワつきがほとんどありません。生地がしっかりしているため、**長年の使用で生じるほつれなどを補修して愛用し続ける方もたくさんいます。**

和歌山市のニット衣料は、非常に丁寧に編みこまれるため**1時間に1mしか作られない吊り編み機による生地を用いた製品や、従来の防寒肌着の2～2.5倍の保温性を持つ肌着など、いずれも大量生産品から一線を画した製品です。**

これらの製品の価格は決して安くはありません。しかし、身につけるものであるからこそ、編み糸から製造方法までこだわりを持って製造を行っています。



吊り編み機によるニットで製作。
手編みのような風合いと優しい着心地感がある
製造：和田メリヤス株式会社



特殊な編み方で編まれた生地で、従来の2～2.5倍の優れた保温性を持つ肌着
製造：信和ニット株式会社

◆ブランド化の推進

和歌山ニット商工業協同組合では、和歌山で作られた確かな品質を持つニットを「**WA Knit made in WAKAYAMA, Japan**」と認定しています。「海外トップ市場でも認められる高品質、高付加価値な製品づくり」を目標に、「和歌山ニット」の共通ロゴを作成し、ブランド化推進が図られています。

◆海外市場への挑戦

「和歌山ニット」の魅力は国内だけでなく海外にも発信されています。

和歌山市にあるニット企業各社は、**高品質かつオリジナリティのある製品**をパリで開催される国際的な繊維の見本市「プルミエール・ビジョン」や、全米最大の総合アパレル製品見本市「マジック」に出展し、海外市場の開拓を図っています。

和歌山ニット
ロゴマーク



海外展示会での商談の様子

◆オール和歌山連携でエンドユーザーへ

現在、ニット生地の買い手であるアパレルメーカーからは生地への提供に留まらず、最終製品の提案も求める傾向が強くなってきています。

そのような中で、本市のニット企業では、繊維関連企業が集積する和歌山市の地域性を利用し、糸の選定から染色、編み、縫製、後加工までの全工程を**オール和歌山の企業で構築した製品製造を計画**する動きも始まっています。

和歌山ニット製品

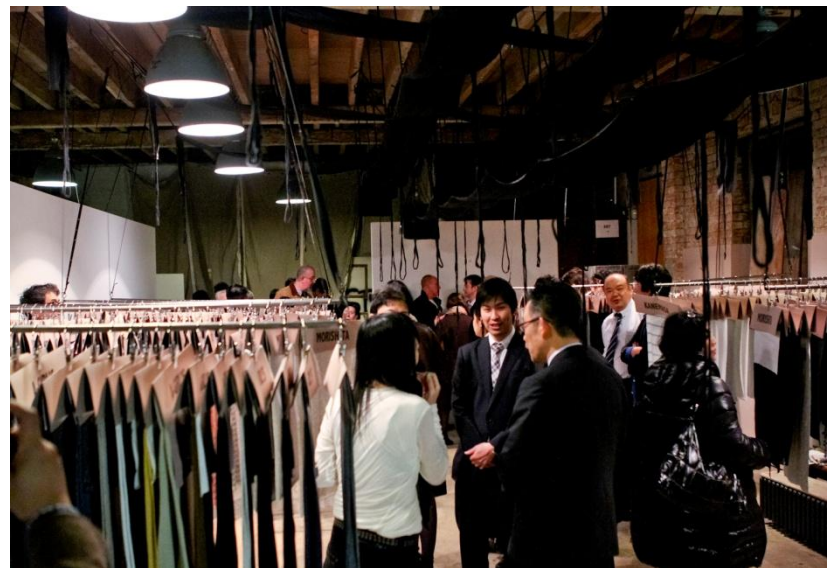


1

～グローバルな情報発信～

「和歌山ニット」による高品質・高機能・高感性なテキスタイルブランド商品を国内外に情報発信していきます。

「和歌山ニット」枠を設け、**各種展示会への出展に係る費用を補助**していきます。



2

～「和歌山ニット」のPRと販売～

関西国際空港へのLCC就航により、和歌山県を訪れる観光客は年々増加し、約30万3500人となりました。

和歌山県の玄関口となる和歌山市のJR和歌山駅「わかちか広場」にショーウィンドウを設置します。

“華やかさ”を追求した**ニットファッション**を展示し、**販売ブース**を設けます。



3

～ニット企業見学観光ルートの設定～

和歌山市の高度なニット製造技術を国内外に広く紹介するため、たま駅長で世界的に有名となった和歌山電鐵貴志川線の沿線に集積する**ニット企業の見学ルート**を設定します。



4

～市民一体となった魅力と活力のある産業振興～

和歌山市では「和歌山市産業振興基本条例」を制定し、官民等が協力して、まちの資源を活用した経済の活性化、魅力ある街づくりに取り組んでいます。

また、これら取り組みの実現化に向け、**地域資源のブランド化を推進**していきます。



和歌山市長から

『明治時代に始まる本市のニット産業は、現在に至る100年以上もの長きに渡り発展し続けてきた和歌山市の伝統産業です。

また、丸編みニット生地生産量は国内第1位であり、日本のニット産業を支えていると言っても過言ではありません。

しかし、円安による原材料の高騰、大量で安価な海外製品の進出により、和歌山ニットを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

こうした中で、従来製品(素材)、技術、製法に捕われず、「今までにない製品を」、「こうしたらもっと良くなるのに」という熱い思いを持ち続けオンリーワンのニット製造機械の自作や、自社ブランドを立ち上げ消費者向け最終製品を提案するなど、今、和歌山市のニット産業は、大きく前進しようとしています。

伝統とニット産業に携わる方々の思いに育まれた技術を国内外に発信し、また和歌山市の誇りとして後世に受け継いでいくため、「ニット製品」を和歌山市のふるさと名物として応援することを宣言します。』

和歌山市長 尾花 正啓



「WA Knit made in WAKAYAMA Japan」
のジャケットを着用